

## TOTAL REHABILITATION

George Nelson Wright, Ph. D. 著

University of Wisconsin, Madison

日本女子大学

小 島 蓉 子

リハビリテーション研究とリハビリテーション・カウンセラー教育の世界的権威として知られるウイソコンシン大学の G.N. ライト教授が、過去30年間の研究を集大成して著したのが「トータル・リハビリテーション」, 全 830 頁の大著である。

本書は未だ邦訳されていないほど新しい。内容の包括性、検証の行き届いた情報の確実さ、辞典のように体系的に整理された実践的理論の力強さは欧米の学会や研究者から「リハビリテーション研究に現れたヘラクレス的業績」として注目されている。それでいて日本の一隅に生きる筆者の文献を引用する際などは、自らのタイプ原稿の段階で意見を求め

るなど、偉大な研究者ほど細心の検証をするものだとは敬服したが、かような努力は全世界の幾多の研究者に対してもくり返されたという「学者の良心に徹する」研究業績の成果である。

内容は5部より成る。第1部は定義、歴史、制度を含む基礎概念、第2部は社会資源とその登用、第3部は人間と労働環境に関する評価とその情報の活用、第4部は人間発達・適応援助としてのカウンセリング過程および技法、第5部は雇用援助技術と就労方策である。

医学領域と互角の発展をみたアメリカのノン・メディカル・リハビリテーションの到達水準が5部門、40

章に収録された実践的理論の宝庫。アメリカの著作とはいえ、国情のみに縛られない科学的方法論や理論には新しい問題の挑戦を受けて立たねばならないわが国の実践家や行政官らにも新しいアプローチの武器を与えてくれるに違いない。医学領域はもとより、社会福祉、労働、教育部門の研究者や学徒、実践家や法・行政にたずさわる人々にも、その視野の拡大と思考の源泉に役立つ文献となろう。

(B5版, 830頁, 1980, ¥10,960, Little, Brown 社発行, MEDSi 発売)